

新潟県薬剤師会 薬剤師ボランティア活動報告書

班名	J 班	報告日	平成 23 年 5 月 11 日
報告者氏名	若尾明範	同行者氏名	成澤千鶴子・栗山玲
活動期間	5 月 3 日 ~ 5 月 5 日	宿泊場所	賃貸宿舎(石巻市内マンション)
活動拠点	石巻市内	ジャンプへの掲載	○掲載してもよい・掲載を希望しない
交通手段	自家用車		
主な活動 (簡潔に)	石巻市内各避難所への OTC 薬品配布、設置薬品の確認、要望事項の聞き取り等		

<活動の内容>

5月3日

朝 8 時に新潟を出発、東北道に入ると GW による断続的な交通渋滞の影響を受け、最初の目的先である宮城県薬剤師会に予定より遅れて 13 時頃到着。これまで活動拠点となっていた石巻高校を引き揚げ、本日より石巻市内の別の場所に移動するとの話があった。その他簡単な説明を受け、宮城県薬剤師会の深緑色のジャンパーとネームを頂き、当日より石巻地区の OTC 薬備蓄先として指定されたバイタルネット石巻支店に移動。5 月 2 日～9 日は大潮に当たる期間で、地盤沈下の影響により女川地区は時間帯によって冠水により通行できず、行ったり戻って来られない恐れがあり、普段より早めに薬剤師が各派遣先より活動を終えて帰ってくるとの事であった。我々新潟チームは当日の活動は無く、そのままバイタルネットにて待機。石巻市薬剤師会専務理事丹野佳郎先生より「被災地の現状について」、「薬剤師ボランティア活動の内容について」、「ボランティア活動における注意事項について」、「薬剤師巡回チーム『チームメロンパン』について」等お話を伺った。派遣先より薬剤師が集まり次第ミーティングを行い、終了後活動拠点の本部であり宿泊先でもある石巻市内のマンションに移動。本部(宿泊先)は元々あった歯科クリニックを住居風に改築し、キッチン、トイレ、風呂付の 20 畳と 8 畳の部屋だったが、ガスが通っておらず風呂は使用できなかった。3 連休の初日という事もあり、各県から 30 人を超える薬剤師が集まりかなり窮屈だったが、宿泊先近くのビジネスホテルを石巻薬剤師会で 5 名分確保してくれた為、残り 25 名程度のメンバーが部屋で深夜近くまで談話をした後就寝。

5月4日

朝 6 時 45 分より本部にて全体ミーティング。湊小学校、女川町立病院、渡波小学校他臨時診療所での調剤業務に当たるメンバーは各々の診療時間に合わせチームごとに本部を出発。我々新潟チームは OTC 班として OTC 薬品備蓄先のバイタルネット石巻支店に向かい 9 時前に到着。OTC 班は我々を含め約 8 名を 3 チームに分けこれまで未開拓の北上地区 10 箇所の避難所を訪問する事になった。業務は「各避難所の責任者および連絡網の確認」、「宮城県薬剤師会より以前各避難所に配布された、OTC 薬の補充と今後必要な薬の聞き取り調査」、「宮城県薬剤師会への連絡先の通知」等を行った。必要性が高いと思われる風邪薬、頭痛薬、胃腸薬、外用鎮痛剤(ゼリー状塗り薬)を持参し、石巻市役所の北上地区支所として機能する、総合運動公園「にっこりサンパーク」を

訪問後3チームに分かれて活動。我々は追分温泉、長尾生活センター、大須生活改善センターの3箇所の避難所を訪問。各避難所とも辺りは被災の跡が残るものの、各々15~20名程度の比較的少人数で避難者が暮らししており、日常は比較的落ち着いた避難所生活を送っていると感じた。避難所によっては、愛媛大学医学部付属病院医療チームの巡回診療もあり、処方薬で足りている避難所もあったが、虫さされの薬、殺虫剤等の薬が足りないとの話を伺い2~3日中に改めて伺いお届けするとお約束をし、避難所を後にした。15時頃バイタルネットに戻り、薬剤師が集まり次第OTC班ミーティング。その際各避難所にある支援薬品の量に偏りがあり特に風邪薬(商品名「ストナ」)、胃腸薬(商品名「エビオス」)などが過剰にある事、ノロウイルス等感染性胃腸炎の蔓延が懸念される中、塩酸ロペラミド含有の下痢止め(商品名「ストップ下痢止め」)が多くの避難所に置いてあり、間違っ
て服用しかえって病状を悪化させる懸念がある事についての問題点が挙げられた。また週明けより予定している避難所での必要性が多い、おくすり相談コーナーの設置等について話があり、翌日は不要薬品の回収、お薬相談コーナーの各避難所での必要性についての聞き取り等をOTC班の主な活動とした。またここで当日4日より新潟からボランティアに参加される仲村先生、斎藤先生と合流。OTC班ミーティング終了後、本部(宿泊先)に移動し臨時診療所での調剤業務メンバーと合流。18時頃より全体ミーティングを行い、終了後各自夕食。当日をもってボランティアを終えた方が多くいたが前日に続きホテルを5名分確保して頂いており女性優先でホテルに宿泊、残りの18名ほどのメンバーで翌日の活動等について話し合いながら深夜0時頃就寝。

5月5日

前日同様6時45分本部にて全体ミーティング。我々新潟メンバーはこの日も避難所でのOTC班として活動する事になった。9時前にバイタルネットに到着後、本日の活動先について打ち合わせ。当日新潟に戻ることを考慮し近場での活動に限定する事になった。渡波小学校、青葉中学校、釜会館他10km圏内の避難所合わせて4か所を訪問しOTC薬の補充、おくすり相談コーナーの必要性についての聞き取りや不要薬品を確認。うち1か所の避難所にて塩酸ロペラミド含有の市販下痢止め薬3箱を回収。今回訪問した各避難所においては、おくすり相談について緊急を要する必要性はないようだったが、今後の事を考え必要時薬剤師会への連絡先をお伝えした。当日の活動場所は石巻港のすぐ傍の避難所もあり、あらためて津波の被害の大きさを目の当たりにした。正午頃バイタルネットに戻り報告書を提出しボランティア業務終了。GW最終日の渋滞を避け山形経由にて新潟に向かい19時頃新潟に到着。

感想

被災地の状況や避難所の環境、ボランティアのマンパワーは日々変化しており、それに応じて薬のニーズ、薬剤師ボランティアの活動内容、役割も日々変わるものと感じました。今後参加される方にも、自分が思い描いたような活動が出来なくとも気持ちを切らさない様、与えられた役割を全うして頂きたいと思います。ちょっとした地味な活動も次に繋がる重要な役割だと思えます。今回のボランティアを通して、同じ志を持った各地の多くの薬剤師と時間を共有出来た事で、改めて薬剤師の組織力の高さや薬剤師同士の繋がりを感じる機会になりました。